

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後に関する多施設共同後向き観察研究
研究期間	2021年3月4日 ～ 2023年12月8日
対象患者	2008年～2015年に食道扁平上皮癌に対して、内視鏡的切除（EMR または ESD）が行われ、一括切除されている患者さん。
研究機関の名称	別添のとおり
当院研究責任者	消化器科 藤代 浩史
意義・目的	内視鏡切除後、病理組織学的に pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性と診断された食道扁平上皮癌患者さんは、「食道癌診療ガイドライン 2017年版」1 や食道癌に対する ESD/EMR ガイドライン」の記載からも、追加治療されずに経過観察されていることが多いです。 本研究では、内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後を明らかにすることを目的とします。
研究内容	「利用・提供する試料・情報の項目」の情報を記載した症例報告書と、個人情報をもスキミングした病理標本および、切り出し図を研究事務局へ送付します。プレパラートは国立がん研究センター東病院で病理診断の中央判定を行い、累積転移再発割合について検討します。
利用・提供する試料・情報の項目	性別、内視鏡的切除時年齢、悪性腫瘍の既往、悪性腫瘍以外の既往・合併症、治療前内視鏡所見、食道内多発癌の有無・個数、内視鏡的切除日、内視鏡的切除方法、治療後の病理組織学的診断、内視鏡切除後の追加治療、食道内新病変の出現（異時性別病変再発）の有無、リンパ節転移再発の有無、他臓器転移再発の有無、食道温存の有無、胸部照射の有無、最終生存確認日、死亡確認日、死因 等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 <input type="checkbox"/> あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	消化器関連の国際学会、専門学術誌で公表予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

消化器科 藤代 浩史

(主担当：内視鏡科 田中 雅樹)

電話：0853 - 22 - 5111

研究組織

研究代表者：国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野 友規

既存試料・情報提供機関

全国の JCOG 消化器内視鏡グループ参加病院 46 施設

ホームページ http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_giesg.htm